

東アジア仏教思想史の構築

凝然・明恵
と華嚴思想

野呂靖・張文良・金天鶴 [編] A5判・上製・三四二頁・本体四、〇〇〇円＋税

2023年3月刊行



東アジア仏教思想の多様な展開の中で、諸地域の思想や文化に多大な影響を与えた華嚴思想。その日本的展開について鎌倉時代の明恵・凝然という二人の思想家を通して考察する。中国・韓国・日本の総勢十三人による学術論文集。

【目次】

序言

[野呂 靖・張 文良・金 天鶴]

第1部 凝然と東アジア仏教

中国における凝然仏教思想の受容——中国仏教宗派説を中心に

[張 文良 (翻訳 李曼寧)]

「十世隔法異成門」解釈からみる華嚴時間論の構築と伝承——法蔵から凝然へ

[王 頌 (翻訳 李曼寧)]

凝然の『五教章通路記』における智儼引用について——同別二教を中心として

[成 晃官 (現山)]

凝然の六相説理解について

[朴 普藍]

『華嚴経』の威神力と統合的理論としての華嚴教学——8世紀における『華嚴経』受容の諸相

[中西俊英]

華嚴観法と凝然

[藤丸 要]

凝然の「通受」「別受」

[大谷由香]

続・中世東大寺律儀復興史小考——円照時代の戒壇院

[横内裕人]

第2部 明恵と東アジア仏教

明恵の『解脱門義』における信と住の関係

[金 天鶴]

明恵と「即身成仏」再考——華嚴教学を基調として

[小宮俊海]

明恵の成仏義解釈とその周辺——義天版章疏の影響関係を中心に

[野呂 靖]

『明恵上人行状』の中の明恵像

[前川健一]

明恵撰『涅槃講式』成立の背景——俊苒請来の宋代仏教儀礼の視点から

[西谷 功]

【編者略歴】

■野呂 靖 一九七九年生まれ。龍谷大学文学部准教授。博士(文学)。専門は仏教学(日本仏教、華嚴思想)。

■張 文良 一九六六年生まれ。中国人民大学仏教与宗教学研究論研究所教授。博士(文学)。専門は仏教学(中国仏教、華嚴学)。

■金 天鶴 一九六二年生まれ。東国大学仏教文化研究院院員教授。哲学博士(韓国)、博士(文学)(日本)。

注文書	
(書店名)	
ご担当	様 冊
法蔵館 四、〇〇〇円＋税 野呂靖・張文良・金天鶴 [編] 東アジア仏教思想史の構築 凝然・明恵と華嚴思想	
ISBN978-4-8318-7766-6 C3015	住所
お名前	お電話

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp